

Ensemble
Kreis

アンサンブルクライス第22回定期演奏会

ルネサンスと現代

指揮…鈴木美登里
Midori SUZUKI
ピアノ…奥田和
Nagi OKUDA
合唱…アンサンブルクライス
Vokalensemble "Kreis" Tokyo



パレストリーナ: ミサ・ブレヴィス

Giovanni Pierluigi da Palestrina (c.1525-1594) : Missa brevis

アンドレア・ガブリエリ: 澄んだ瞳

Andrea Gabrieli (c.1510-1586) : Occhi sereni

オルランドゥス・ラッス: 上等で美味しいお酒

Orlandus Lassus (1532-1594) : Vinum bonum

新実徳英: 花に寄せてより

Tokuhide NIIMI (1947-) : Hana ni Yosete

ジョン・ラター: 神の平安

John Rutter (1945-) : The peace of God

他

7.29 2018
sun

13:30 開場 14:00 開演

トッパンホール

●チケット料金●全席自由:2,500円 / トッパンホールクラブ会員:2,000円

アンサンブル・クライスの「クライス」は「仲間」を意味するドイツ語で、この合唱団がドイツ音楽、そしてドイツ文化を大切にしていきたいという心意気をこめて名づけたという。事実、この合唱団は近年、ドイツ・ロマン派の正統的なレパートリーに重点を置いてきて、演奏を積み重ねてきた。昨年の公演でもリストやブラームスの作品を中心とした味わい深い演奏に接したばかりだ。

ところが、その「クライス」が、また新たな動きを見せつつある。今度は、イタリア・ルネサンスの合唱曲に改めて真摯に取り組んでみたいと考えているようだ。その本気ぶりは 2015 年の公演につづき、再び指揮者に鈴木美登里さんを招聘したことから窺える。

鈴木美登里さんについては多くの説明は不要であろう。ラ・プティット・バンドやバッハ・コレギウム・ジャパンなどのソリストとして世界的に活躍する名プリマドンナである。近年は、特に初期バロック時代の声楽曲（マドリガーレなど）の研究に集中されており、2002 年にアンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」を結成して、その成果をコンサートや講習会などで披露されている。

そんな古楽界きっての名花が「クライス」のために選んだプログラムは、パレストリーナ、ガブリエーリ、フェラボスコ、ラッスなど、後期ルネサンス時代の名曲がズラリ。そこへ現代イギリス合唱界の重鎮ジョン・ラッターと日本の現代作曲家・新実徳英さんの作品を対置させている。

この意欲的なプログラムのなかで、やはり注目は後期ルネサンスの作品群であろう。この時代の音楽は、主旋律がくっきりと明瞭に響くといったようなものではない。むしろ、女声と男声の各声部が織りなし、一枚の布を作り出すように演奏していかなければならないのだが、鈴木美登里さんのタクトのもと、はたして「クライス」は、こうした音の世界を、どのように歌い上げるのか？ ぜひ彼らの成果を見届けてみたいと思う。

加藤拓未（音楽学）

指揮 鈴木美登里 Midori SUZUKI



京都市立芸術大学声楽科大学院修了後、兵庫県芸術文化海外留学助成金を受けオランダに留学。グレゴリオ聖歌からバロック期に至る古楽声楽とアンサンブルを Dr. レベッカ・スチュワート、マックス・ファン・エグモントの各師に学ぶ。留学中より国内外の古楽グループのソリストとしてコンサートツアー及びレコーディング活動に参加。2000 年に帰国してからは、特に初期バロック期のソ声楽曲及びマドリガーレの研究に力を注ぎ、コンサートや講習会など積極的な活動を展開している。声楽アンサンブル『ラ・フォンテヴェルデ』主宰。アンサンブルクライスでは、2015 年の第 19 回定演（ジョスカン・デ・プレ「ミサ・パンジェ・リングア」）に続き、今回が二度目の出演となる。

主宰 吉田真康 Masayasu YOSHIDA



中央大学商学部経営学科卒業。当時所属していた合唱団「鯨」と「中央大学混声合唱団」の指揮者芥川也寸志氏と山口貴氏の影響を強く受け、高階正光氏に指揮法を師事。1993 年にアンサンブルクライスを結成し、その指導・運営にあたっている。墨田区の『ブルーメンコール』の指揮者も務め、来月 8 月 26 日（日）にはすみだトリフォニーホール主催『すみだ音楽祭 2018』（トリフォニー大ホール）で、J.S. バッハのカンタータ等を指揮・演奏する。



合唱 アンサンブルクライス Vokalensemble "Kreis" Tokyo

1993 年に少人数の精緻なヴォーカルアンサンブルを目指して結成された合唱団。「クライス」とは「ジグ・クライス（歌のサークル）」のことで、ドイツ語文化圏との密接な結びつきを表している。レパートリーはルネサンス期のアカペラ作品とバッハを中心としたバロック期の宗教合唱曲だが、近年は、ブスト、ラ・クール、ディエストロ、マンティヤルヴィ、モチュニック、ミシュキニス、ローリゼン、キンターナなど「現在の作曲家」の作品も演奏している。団員は 30 名（女声 19 名、男声 11 名）で、プロの歌手も参加している。

主宰・合唱指導吉田真康、ヴォイストレーナー平川聡子、伴奏ピアノリスト奥田和、伊藤明子、大場智子の各氏。これまでにヴァルター・ヨハネス・ベック、樋口隆一、常森闘志、宇野徹哉、鈴木美登里の各氏を指揮者として招いている。

次回定演のお知らせ & 歌う仲間を募集します！

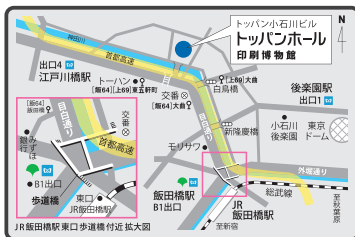
◆アンサンブルクライス第 23 回定期演奏会
2019 年 6 月 30 日（日）14 時開演 トッパンホール
指揮：宇野徹哉 合唱：アンサンブルクライス

J.S. バッハの《口短調ミサ》（抜粋）とアリエル・キンターナの《二つの世界からのミサ Mass from Two Worlds》を演奏します。ご興味のある方は一緒に歌いませんか？ 団員一同お待ちしております。

お問合せ：080-1122-8505(吉田)

詳しくは <http://www.ensemble-kreis.com>

検索



2018 年 7 月 29 日（日）
13:30 開場 14:00 開演

【チケット料金（全席自由）】 ¥2,500
トッパンホールクラブ会員 ¥2,000

チケット取扱い トッパンホールチケットセンター：03-5840-2222
トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
E-mail:info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)